

2016年4月14日
日本コンサルタンツ株式会社
日本工営株式会社
株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
株式会社パデコ

「インドネシア ジャカルタ MRT 南北線 運営維持管理 コンサルティングサービス (OMCS)」の受注・契約について

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区）、日本工営株式会社（本社：東京都千代田区）、株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都渋谷区）、株式会社パデコ（本社：東京都港区）は、この度、ジャカルタ地下鉄公社（PT. Mass Rapid Transit Jakarta）より、インドネシア ジャカルタ MRT 南北線 運営維持管理 コンサルティングサービス（OMCS：Operation and Maintenance Consulting Service）を共同で受注し、2016年4月13日に同社と契約を締結しました。

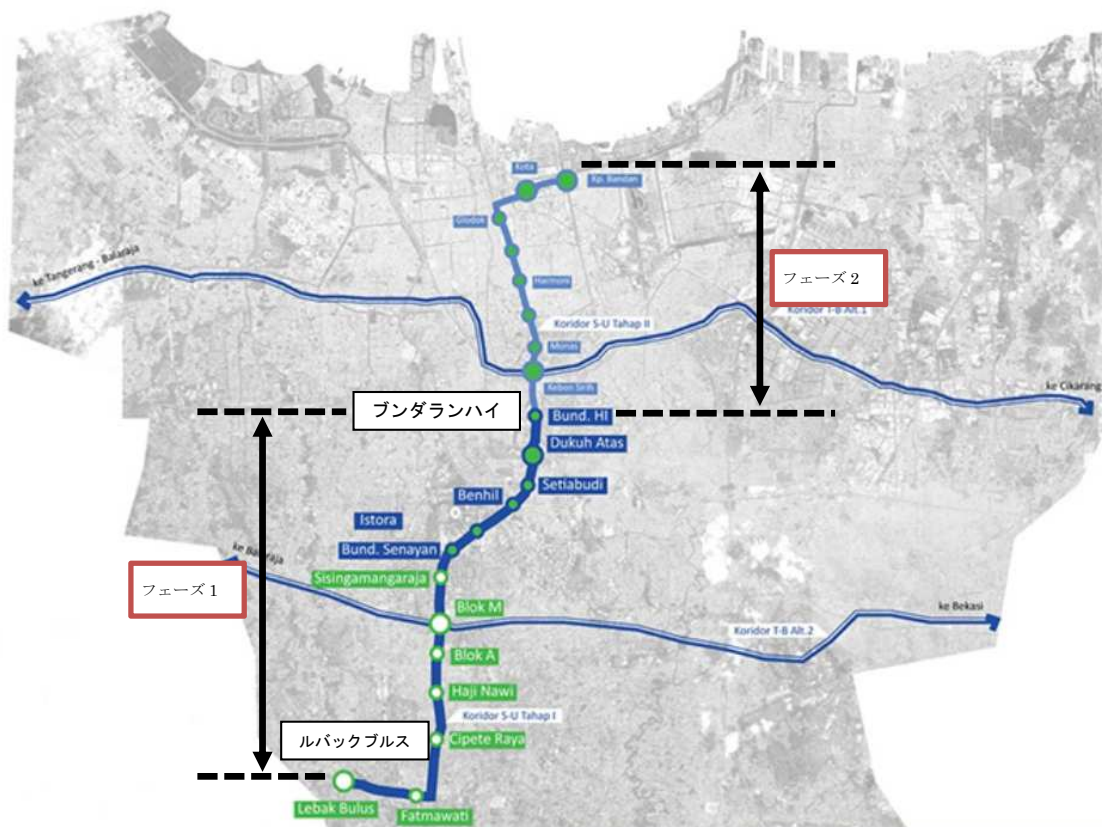
インドネシアでは、ジャカルタ首都圏の慢性的な交通渋滞緩和のためインドネシア初となる MRT を建設するプロジェクトが進行しており、ジャカルタ首都圏の人口増加と経済成長に伴う交通渋滞の解消、及び効率的な交通ネットワークの構築に寄与するものとして大きな期待が寄せられています。

ジャカルタ MRT 南北線は、ジャカルタ中心部を南北に縦断し、インドネシア鉄道のターミナルであるコタ (Kota) 地区を起点とし、そこから南下してジャカルタ中心部であるブロック (Blok) M 地区を経て郊外のルバックブルス (Lebak Bulus) までを結ぶ延長 23.8km に及ぶ路線として計画されています。このうち、フェーズ 1 としてブンダランハイ (Bundaran HI) ～ ルバックブルス間 15.7km が 2019 年の開業を目指し、建設が進められています。OMCS プロジェクトではジャカルタ MRT 南北線のフェーズ 1 区間において、開業準備を主体とした MRT の運営維持管理体制の構築、および開業後の支援を実施いたします。

本プロジェクトは日本の円借款による事業で、上記 4 社による共同企業体 (JIC-JV) に加え、協力企業として東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区）、東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区）と、インドネシア企業 4 社の体制にて実施いたします。

<プロジェクト概要>

- (1) 事業名： ジャカルタ MRT 南北線【フェーズ1】
運営維持管理 コンサルティングサービス (OMCS)
- (2) 事業概要： 開業準備を主体とした MRT 運営維持管理体制の構築及び開業後の支援
- (3) 実施期間： 2016年4月～2019年9月 (42ヶ月)
- (4) 主な成果物：
 - ・運営維持に係る各種規程、マニュアルの作成
 - ・運営維持に係る職員の教育訓練の実施
 - ・開業準備
- (5) 計画路線図



(出典：PT. Mass Rapid Transit Jakarta HP)

<契約調印式の様子 (4月13日 ジャカルタ)>

